

セカイを映す水滴のパレット

我々がよく目にする水滴。

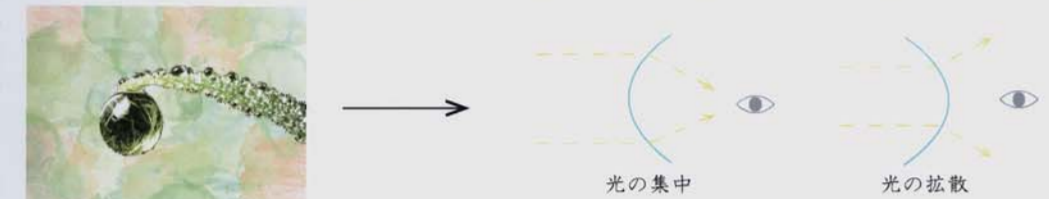
もしその水滴が我々の日常のなかに溶け込めば・・・

それは時に大きな風景が一望できるような絵になったり、普段見れない小さな生き物たちの世界がのぞける顕微鏡にもなる。

それらは我々の身体のスケール感覚を曖昧にし、日常生活をほんの少し豊かにしてくれるだろう。

□ 光の屈折を利用する曲面ガラス

水滴は無色のパレットのようなものであり、周囲の風景を取り込み、何色にも染まる。光の屈折によって周囲の風景を取り込む水滴の曲率を抽出してガラスに適用させる。



光を集めるため耐熱性の高いファイアライトを想定する。原料とガラスを軟化点付近まで加熱し、曲率をもった金型に流し込み再度成形を加えることによって目的の形状をつくる。ガラス素材の表面品位をそのまま生かす高品位プレス成形。



□ 錯覚する距離とスケール

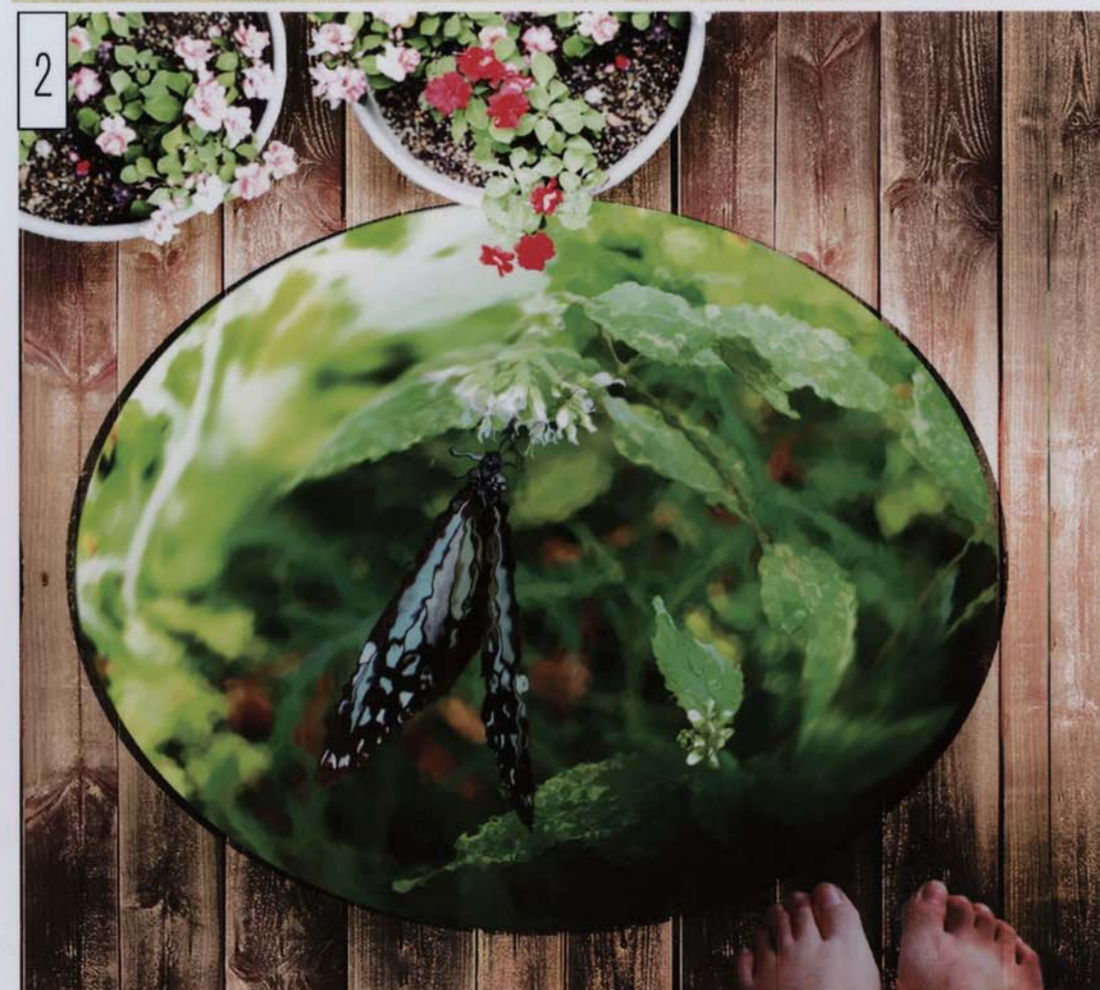
認知できない大きなスケールや小さなスケールを日常生活に取り込むことによって、外部環境との距離感をより身体感覚へ近づける。物理的に外部と内部の境界線を曖昧にするのではなく、感覚としての境界の認知自体を曖昧にする。



認知できるスケールの振れ幅を拡張する



遠くの都市との距離を身体スケールへと近づける



小さな昆虫のスケールが身体スケールに近づく



普段気づかないような些細な環境の変化を体感する



夜空の月明かりが部屋中にほのかに拡散される